

阿曾浦漁場環境調査

観測日時

令和6年 8月 13日 火曜日 9時00分

天候 晴れ

観測 南島種苗センター

観測地点 (水深)	水深 (m)	水温 (°C)	溶存酸素 (mg)	比重 (‰)	プランクトン (細胞/ml)
1. 岸信夫 さん前 (16.0)	1	30.3	6.3		珪 2280
	3	29.3	6.8	33	珪 890
	5	28.8	6.9		珪 1190
2. 大江 (13.9)	1	30.2	6.0		珪 820
	3	29.6	6.3	32	珪 330
	5	28.8	6.5		珪 1040
3. 道方 (10.9)	1	30.5	6.2		珪 630
	3	29.6	6.7	33	珪 940
	5	28.6	6.7		珪 640
4. 毛無 (17.8)	1	30.3	6.0		珪 870
	3	29.5	5.9	33	珪 1000
	5	29.1	5.9		珪 680
5. この浦 (中央) (13.4)	1	30.0	5.7		珪 0
	3	29.7	6.0	33	珪 0
	5	29.4	6.0		珪 0
6. この浦 (奥) (9.5)	1	29.9	5.6		珪 0
	3	29.5	5.8	32	珪 0
	5	29.2	5.8		珪 0
7. テラマル (19.2)	1	29.6	5.8		珪 0
	3	29.5	5.9	33	珪 0
	5	29.0	5.8		珪 0
8. カマバ (11.9)	1	29.8	5.5		珪 220
	3	29.0	5.2	33	珪 0
	5	28.5	5.4		珪 0

備考 「珪」は珪藻類です。(二枚貝の餌等になります。)

今回検出された珪藻類の種類については「キートセロス属」と「ニッチャロンギッシマ」が多数でした。

※比重(塩分濃度)は塩分濃度計(ATAGO MASTER-S/Mill α)で測定し、値は‰(パーミル)標記とさせていただきます。
南伊勢町沿岸域の海水の塩分濃度は33‰前後が基準となります。